

2022 年度 事業報告

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

I. 公益目的事業

公1 母乳育児の支援及び啓発、普及事業

1. 母乳育児相談室における事業

(1) 母乳育児相談事業

- 1) 産婦・授乳婦を対象とした桶谷式乳房マッサージおよび保健指導を桶谷式乳房管理士が行う。必要時、訪問指導も行う。
- 2) 授乳中のお母さん向け無料オンライン相談
- 3) 相談室は早稲田・南浦和・二子玉川の3カ所で運営
- 4) 月曜日～土曜日 9:00～17:00(必要に応じ対応)
- 5) 1人 30分枠 予約制
- 6) 定休日は日曜・祭日(必要に応じて臨時営業)
- 7) 助産師稼働は常勤3名、パートタイム4名(勤務時間不定期)

(2) 桶谷式乳房管理法研修センター研修生の臨床実習受け入れ

- 1) 桶谷式乳房管理法研修センター研修生(助産師)11名
- 2) 実習日時は月曜日から土曜日(木曜日を除く)9:00～16:00
- 3) 研修生と担当助産師との実習カンファレンス

(3) 他大学助産科学生、看護科学生の見学実習受け入れ

- 1) 帝京大学助産専攻科(助産科学生)15名(早稲田相談室)
- 2) 東京メディカルセンター(看護科学生)40名(早稲田相談室)
- 3) 日本赤十字看護大学さいたま看護学部(看護科学生)22名(南浦和相談室)
- 4) 東京医療保健大学大学院(助産科学生)6名(早稲田相談室)

(4) 地域妊産婦への母子保健活動の提供

- 1) 「ニコ・ワークス」サイトにおいてオンライン母乳育児講習会開催
第1回 5月29日 10:00～11:30 参加280組「上手なおっぱいのあげ方レッスン」
第2回 9月23日 10:00～11:30分参加180組「かんたん乳房セルフケア」
第3回 12月15日 10:30～12:00 参加250組
「おっぱいやめる・やめない?職場復帰するママの為の母乳育児講座」
第4回 3月23日 10:00～11:30 参加220組「卒乳・断乳」
毎回講座終了後に、予約制個別無料オンライン相談(30分枠)を110組実施。

- 2) 地域子育てスペースを利用しパパママ向け「おっぱいセミナー」は、コロナ禍のため地域施設を利用できず未開催。

(5) 一般市民を対象とした母乳育児の理解を深めてもらうための活動

1) 来所者含め地域妊産婦対象の講習会は、コロナ禍のため地域施設利用できず未開催。

2) 子育て応援、育児サロン開催(母乳のワークショップなど)

早稲田・南浦和・二子玉川各相談室室長が相談室来院者対象の「子育てサロン」をオンラインで開催。第1回10月25日参加者4名、第2回1月17日参加者8名。

3) 地域のイベントの参加協力は、今年度実施なし。

4) 本会発行「育児通信」を妊産婦へ配布し、情報提供を行った。

(6) 職員研修

学生実習指導のスキルアップを目的とした職員研修を11月～3月に17回実施。

(7) AEDの設置(9月)

早稲田相談室に加え、南浦和・二子玉川両相談室にAEDを設置。

(8) ウォーターサーバーを設置(9月)

南浦和・二子玉川両相談室の来室者に飲料水・温湯の無料提供を開始。

2. セミナーの開催

(1) 桶谷セミナー(講演2題、研究発表1題)

講演1 講師: 森田綾先生「発達が気になる赤ちゃんや子どもの接し方」

講演2 講師: 益田祐介先生「女性の発達障害について」

研究発表「新型コロナワクチンアンケート結果」学術研究委員会

日時: ライブ配信 2022年11月13日 録画配信 11月14日から3週間

対象: 桶谷式乳房管理士、研修センター研修生、会員外助産師

結果: ライブ配信最大視聴者数 260名 録画配信ユニーク視聴者数 265名
非会員参加 18名 IBLCE 単位申請者数 29名

アドバンス助産師の選択科目受講票送付者数 62名

(2) 日総研開催の母乳育児支援セミナーの講師依頼(講演3題, 手技動画1題)

テーマ「桶谷式認定助産師が教える(第2弾)明日から使える桶谷式母乳育児支援」

オンデマンド 5月9日から18日間、10月12日から18日間

受講者数: 5月 58名、10月 46名

講演1 講師: 氷見知子氏「知れば納得!! 桶谷式乳房管理法」

講演2 講師: 東 博美氏「あなたからはじめる 直接授乳と搾乳の支援」

講演3 講師: 小椋利絵氏「知っておきたい! 乳房トラブルへの対応～助産師だからできるケアと対応～」

桶谷式手技動画: 福田良子氏

(3) その他

1) 講師候補を探すための学会や講義への参加なし。

2) IBLCE 継続教育単位発行申請

3. 助産師派遣

帝京大学助産学科への大学講師としての派遣はなし。

4. 情報提供

(1) 育児通信発行

167号～170号発行 発行部数各号7,000部

「特集記事」

167号わが子が医療を受ける時、お母さんがしてあげたい心のケア

168号赤ちゃんのお耳のケアと病気

169号おむつ無し育児～おむつに頼りすぎないという選択～

170号「産後うつ」ってどんな病気？

(2) ホームページ運営

1) ホームページ更新

ア. ママサイトの「お知らせ」の更新（随時）

イ. Q&A 記事の登録更新（随時）

ウ. 「クローズアップ相談室」に掲載する相談室の選考・原稿依頼・編集・登録

（3カ月ごと）

エ. 育児通信「やさしいごはん」の登録（3カ月ごとに4～5品）

2) お問い合わせメール対応 お問い合わせ件数159件

3) 開業者 ホームページのパトロールを10月に実施。

4) ホームページ委員会マニュアル「ホームページ管理システムの運用、操作に関するマニュアル」を改訂

5) SNS投稿

6) O P P A ! 相談室検索サイトの充実

(3) 妊産婦への情報提供

1) 桶谷式母乳育児推進協会機関誌「育児通信」を無料配布した。

2) 母乳育児冊子「桶谷式母乳育児を楽しくするおっぱいルームアドバイス」の各相談室の初診のお母さまへの配布を継続。

3) 乳がんパンフレット（対がん協会作成）を無料配布し自己検診の推奨・指導を行った。

4) 地域の子育て支援センターに相談室パンフレットを配布。

5) HOXON（乳幼児用品レンタル雑誌）、babyco（育児フリーペーパー）にオケタニ商品の掲載をした。

Pre-mo（出産準備雑誌）Baby-mo（子育て雑誌）の読者を対象にした母乳育児教室を予定していたが、コロナ禍のために中止した。

6) 東京中ブロック主催のオンラインサロン開催4回参加者18名。

(4) 母乳育児の推奨品（オリジナル授乳クッション、哺乳びん、おんぶ紐等）の販売および出産準備雑誌・育て雑誌への母乳育児情報の提供を行った。

5. 調査・研究

(1) 学術的研究活動

- 1) 会員が円滑に研究を進められるようサポート。
会員からの研究申請はなかった。
 - 2) 桶谷式に関する研究が盛んに行われるようサポート。
具体的な案内や会員からの募集はできなかった。
 - 3) 対外的な活動の推進。
桶谷式の手技による母子の変化についての質的研究を行うという計画は、会員からの提案なども含め具体的な調査活動は行っていない。
 - 4) 学術委員会としての研究を進めていく
コロナワクチンを接種した授乳婦を対象にしたアンケート調査の分析結果を桶谷本部セミナーにて発表。また、論文を学会誌へ投稿中。学会への発表は検討中。
- (2) 業務実態調査
- 1) 業務実態調査 2023 の準備
プレテスト結果および理事会からの要望を踏まえてアンケート票の修正を行った。
 - 2) 業務実態調査 2023 の実施
アンケート調査を実施
会員による実数集計は 2023 年 1 月 1 日より開始
- (3) 倫理審査委員会活動
今年度は会員からの研究申請がなかったため、審査も実施されなかった。
- (4) 加熱式たばこ喫煙（受動喫煙含む）による母乳中ニコチン量ならびに母乳成分の影響に関する検討の研究参加者募集に協力した。

6. 国際協力

- (1) JICA 草の根支援パートナー型プロジェクトの活動計画の立案と実施
- 1) コロナ禍で 2019 年 6 月より 3 年間渡航できず、計画の再検討が必要となった。JICA 担当者と検討の結果、目標達成のためにプロジェクト期間を 2 年間延長することとした。そのため再契約締結が必要となり、活動計画、予算、人員配置の調整、手続きなどを行い、2023 年 3 月 1 日バングラデシュ政府との両国間締結が完了した。
 - 2) 現地での活動
2022 年 8 月 4 名 10 日間、2023 年 2 月 2 名 9 日間滞在し、研修会を実施した。
 - 3) 国際協力活動の広報について
3 年間活動がなく、桶谷ホームページ記事のアップデートは次年度の予定に。
- (2) 海外から協会への問い合わせは 1 件

公 2 教育、育成のための事業

1. 研修センターの運営

- (1) 2022 年度東京 39 期生研修報告
- 1) 研修期間：2022 年 4 月 9 日～2023 年 3 月 12 日 (6 名)
2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 10 日 (5 名)
(2021 年 12 月の入学試験において定員割れのため、2022 年 6 月に二次募集試験を行い、前半春季生、後半秋季生での分散研修とした)
 - 2) 研修生数：11 名

3) 担任教務：氷見知子・豊永奈津美

4) 講義・研究

専門科目Ⅰ 238 時間

専門科目Ⅱ 54 時間

自由研究・実践活動 46 時間

合計 338 時間

5) 実習

基礎実習 オケタニ母乳育児早稲田相談室（実習時間 600 時間以上）

指導者：鍋倉栄利子・氷見知子・中村美穂・豊永奈津美

開業相談室実習Ⅰ（1 人 3 週間 2 ヲ所・実習時間 210 時間）

開業相談室実習Ⅱ（1 人 2 週間 2 ヲ所・実習時間 140 時間）

産後ケア実習

実習報告会 2023 年 2 月

6) 手技習熟度評価

第 1 回：2022 年 8 月（春季生）・2023 年 2 月（秋季生）

第 2 回：2022 年 10 月（春季生）

7) 自由研究・実践活動

オンライン両親学級を開催（春季生）

日時 2023 年 1 月 21 日（土）10:00～11:10

定員 10 名 参加者 3 名

プログラム

1. おっぱいの仕組み
2. じぶんのおっぱいを知ろう
3. 母乳の出るしくみ
4. 母乳育児経験者の話

8) その他

「早稲田の風」を 3 回発行

図書管理

防災訓練（2022 年 7 月、10 月）

早稲田寮の提供

(2) 2022 年度東京 39 期生二次募集・入学試験

1) 募集について

ア. 募集広告を医学書院『助産雑誌』、メディカ出版『ペリネイタルケア』4 月号に
広告掲載

イ. 研修センターホームページに募集要項を掲載

2) 学校説明会開催 4 月 12 日（参加者 4 名）

ア. 受験者数の増加とよりよい人材を集めることを目的に学校説明会を開催する。

イ. プログラム

桶谷式の概要、カリキュラム・研修・実習内容、卒業生の話、研修生からの
研修生活についての話

3) 39 期秋季生入学試験

ア. 定員 6 名

- イ. 出願期間 2022年5月1日～5月14日
 - ウ. 試験日時 2022年6月5日
 - エ. 試験内容 筆記試験 10:00～12:00 面接試験 13:00～17:00
 - オ. 審議 18:00～20:00
 - カ. 合格発表 2022年6月13日 受験者5名、合格者5名
- (3) 2023年度東京40期生募集・入学試験
- 1) 募集について
 - ア. 募集を医学書院『助産雑誌』、メディカ出版『ペリネイタルケア』4月号に広告掲載
 - イ. 研修センターホームページに、募集要項を掲載
 - 2) 学校説明会開催
 - ア. 受験者数の増加とよりよい人材を集めることを目的に学校説明会を開催する。
7月14日、8月8日、9月21日、10月18日の4回開催(参加者13名)
 - イ. プログラム
桶谷式の概要説明、カリキュラム・研修・実習内容、卒業生の話、研修生からの研修生活についての話
 - 3) 40期生入学試験
 - ア. 定員12名
 - イ. 出願期間 2022年11月1日～11月14日
 - ウ. 試験日時 2022年12月4日
 - エ. 試験内容 筆記試験 10:00～12:00、面接試験 13:00～17:00
 - オ. 審議 18:00～20:00
 - カ. 合格発表 2022年12月12日 受験者11名、合格者11名
 - (4) 東京38期生の卒後1年間のサポート
 - 1) 総会や本部セミナー等推進協会の行事やブロック会への参加を促した。
 - 2) 勉強会(ワークショップ・手技講習会・講演会など)への参加を促した。
 - 3) 桶谷式理論・手技・仕事に関する相談および指導を行った。
 - 4) 東京38期生(2022年4月1日認定)を担当認定者がサポートした。

2. 資格付与事業

資格認定委員会会議を2月23日に開催し、東京39期春季生6名は全員合格した。

3. 教育の充実と技術向上のための研修事業

(1) 桶谷式乳房管理士の質の維持と技術向上のための研修

1) 担当ブロックワークショップ開催 (テーマ「桶谷生き残り戦略」または自由)

ア. 北陸ブロック

テーマ「SWOT分析について」

講師：福井大学大学院国際地域マネジメント研究科准教授 高井愛子先生

参加者15名(他ブロック3名含む)

イ. 北関東ブロック

テーマ「産後ケア事業の実際を知ろう」

～認定者が携わっている北関東での産後ケアの実際～

参加者 39 名(他ブロック 7 名含む)

ウ. 北海道ブロック

テーマ：これからの桶谷 生き残り戦略を考える～SWOT 分析を用いて～

講師：札幌市立大学看護学部助産学専攻科 山本真由美先生

参加者 23 名

2)各ブロックのワークショップ資料、発表を会員サイトに掲載

(2)手技ステーションの研修件数

1)全国の会員対象ステーション 48 件

2)所属ブロック会員対象ステーション 11 件

3)その他の施設での研修 27 件

(3)ブロック主催講習会の開催と奨励

1)ブロック出張手技講習会 3 ブロック

2)ブロック内手技講習会 11 ブロック

3)ブロック主催講演会 8 ブロック

ア. 東京西

7 月 24 日参加者 62 名(他ブロック 36 名)

「被災体験に学ぶこれからの防災」 会員・浦崎貞子氏

イ. 神奈川

11 月 2 日参加者 18 名

「産後のメンタルヘルスの理解と支援」

世田谷区立産後ケアセンターカウンセリング担当 谷口真理先生

ウ. 近畿第一

12 月 11 日参加者 47 名(他ブロック 24 名含む。オンデマンド配信 231 回再生)

「コロナ禍の母乳育児支援」 水野克己先生

エ. 東京中

1 月 15 日参加者 44 名(他ブロック 26 名含む)

「離乳食が進みません」といった相談にうまく対応するコツとは!!」

～補完食支援の要点～かるがも藤沢クリニック所属 江田明日香先生

オ. 九州

1 月 15 日参加者 67 名(他ブロック 46 名含む)

「乳幼児の発達について」 福岡・みずまき母と子の心療所 白川嘉継先生

カ. 東京東

1 月 29 日参加者 22 名

「肌を整えるインナーケアの重要性」 会員・柄谷千鶴氏

キ. 近畿第二

2 月 19 日参加者 105 名(他ブロック 76 名含む)

「赤ちゃんの発達のみかたと援助」

聖ヨゼフ医療福祉センター小児科部長・吉田菜穂子先生

ク. 東北

2月19日参加者40名(他ブロック21名含む)

「周産期メンタルヘルスケア」東北大学 精神科所属 菊地紗耶先生

(4) 本部手技講習会の検討

2017-2018年度本部手技講習会のビデオ・資料を会員ホームページに掲載。

(5) 乳房管理士集会の開催

タイトル「今こそつなげよう・つながろう～桶谷式を後世に伝えるために～」第2弾

オンライン座談会動画配信

ファシリテーター：豊田和子氏

講師：森田征子氏 齋藤美恵子氏 吉橋和子氏

日時：2022年6月20日より3週間

開催方法：オンデマンド配信

参加者：視聴回数525回 ユニーク視聴者219

(6) ベテラン認定者ビデオ撮影企画立案

会員が全国にいるベテラン認定者(桶谷先生の手技を目指してきた方)の手技、指導、お母様の接し方等のビデオを会員ホームページに公開、自己研鑽に役立てる。

(7) 「卒後研修プロジェクト2030」の企画立案

目的 ①10年後、20年後まで桶谷式の卒後研修が継続できるシステムを作る。

②桶谷式乳房手技を明確にして残す。

プロジェクト企画担当者 武市洋美、石川理子、大野祐子、西村しのぶ、氷見知子

1) 第1回会議 2022年9月20日

プロジェクトの概要説明と確認

プロジェクトと各計画の正式名称について

2) 第2回会議 2022年12月7日

プロジェクトの3つの計画案の実現可能性について

過去に行われた本部手技講習会について

3) 第3回会議 2023年1月11日

計画1 ステーション会議の内容とメンバーについて

計画2 過去の本部手技講習会の講義内容について

計画3 ラダーの作成方法について

4) 第4回会議 2023年3月1日

会員へ向けての説明について

計画1 ステーション会議の招集準備のための日程調整について

計画3 アドバンス助産師クリニカル・ラダーとJNAラダーの検討

(8) 自己研鑽奨励のために、小林美智子著「桶谷式乳房管理法の理論と実践」を作製し会員に配布した。

4. 奨学金制度

奨学金貸与

(1) 36期生1名奨学金返済完了

(2) 39期秋季生 2023年1月より1名奨学金50万円貸与

5. 会員のための情報提供

- (1) 会報「折り鶴」から情報提供
会報「折り鶴」を年 2 回発行（2022 年 9 月第 42 号・2023 年 3 月第 43 号）
- (2) ホームページの会員サイトから情報提供
『母親の「分娩方法」「出産経験」が初乳中の免疫成分の濃度に関連』
～帝王切開後や第 1 子出産時にも初乳を届けるためのサポートを～
ピジョンと国立成育医療研究センターとの共同研究レポートの掲載(11 月)
- (3) 「桶谷メール」の配信
74 通を配信。
理事会報告、ブロック会議事録、ブロックへの安否確認メールなど。
- (4) 理事会だより発行（希望者のみ）
希望者なく発行中止とした。
- (5) 事業部通信
会員と関連業者に事業部活動内容と情報を提供した。4 回発行 発行部数 570 部
- (6) 安全管理対策情報の提供 助産所開業マニュアル・安全管理基準を案内し徹底する。
- (7) 日本助産師会および助産師賠償責任保険情報の提供および加入推進
- (8) 感染症対策委員会による情報提供
感染症状況の収束に向かいつつある中、3 月 15 日の政府からのコロナ感染対策変更の発表に即し、マスク着用について会員へ配信した。

収 1 事業

1. 母乳育児用品の開発・製造・販売および書籍出版事業

- (1) 公益社団法人桶谷式母乳育児推進協会推奨品規程の策定と推奨品の選定
- (2) 母乳育児用品の販売と紹介
販売・紹介の母乳育児用品
おんぶ紐、授乳クッション、授乳服、哺乳用品、感染対策商品等の販売・紹介
- (3) 書籍の出版
「おっぱいルームアドバイス」等の出版 増刷 5,000 部

2. 母乳育児相談室の運営

収 2 事業

1. 産後ケア事業

- (1) 運営方法について
 - 1) デイケア型(日帰り型)・アウトリーチ型(訪問)を行う。
 - 2) 月曜日から金曜日 9:00～18:00（祝祭日は休み）
 - 3) デイケアはオケタニ早稲田ビル 3 階で行う。
 - 4) 対象：出産後から子どもの 1 歳の誕生日までの母と子
 - 5) 正規基本料金：デイケア 1 日 25,000 円
アウトリーチ 1 回 9,000 円(滞在時間約 1.5 時間)

- 6) スタッフは東京中ブロックを中心に近隣の一種会員と本会の職員で構成。
- 7) 中野区と業務委託契約を締結し、中野区の産後ケア事業(デイケア、アウトリーチ)を行った。

その他の事業

1. 助産院開業資金等の貸与(そとみ基金)

- (1) 開業資金の貸与の申請はなかった。
- (2) 事業資金等の貸与の申請はなかった。
- (3) 奨学金の貸与(公 2「4. 奨学金制度」参照)

2. 表彰事業

- (1) 感謝状贈呈 75 歳以上で認定歴 15 年以上を対象とし、本年度は 6 名表彰
- (2) 松村志保子顕彰会 松村志保子賞 2 名受賞

3. 福利厚生、交流会の開催

- (1) 福利厚生
 - 1) 弔慰金 4 名に支給。
 - 2) 災害等見舞金
コロナ陽性者と保健所より濃厚接触者で隔離要請があった会員を対象として、2019 年度から申請会員へ一律 1 万円の支給を開始した。コロナ感染第 7 波の収束状況により、2022 年 11 月見舞金支給を終了した。今年度の申請延べ数合計 59 件。期間中の総数 69 件。
- (2) 交流会の開催
懇親会は、コロナ感染状況が見通せず 2022 年度は開催しなかった。

法人運営に関する事業

1. オケタニ企画株式会社からの寄付

オケタニ企画株式会社からオケタニ早稲田ビルの土地建物等の寄付を受けた。なお、その後同社は解散した。

2. 桶谷式学校設立準備会に対する未収金の回収

桶谷式学校設立準備会に対する未収金は、オケタニ企画株式会社の株式 187 株をもって回収をした。

3. 会議の開催

- (1) 2022 年度定時社員総会開催 2022 年 6 月 19 日(日曜日)13:00~15:30
ハイブリッド参加型総会開催(会場：横浜市社会福祉センター 4F ホール)
会場出席 33 名 議決権行使書面提出 318 名 合計 351 名(正会員総数 531 名)
- (2) 理事会 8 回、理事検討会 2 回
- (3) ブロック長理事合同会議(9 月、3 月)
- (4) 運営人事委員会 12 回

(5)各ブロック会のブロック会議

ほとんどがオンライン開催であったが、後半には対面開催または対面とオンライン併用で開催したブロックがあった。

4. 会員情報の把握・整理

(1)第一種会員

- 1)会員名簿作成
- 2)乳房管理士台帳の管理（本部・副会長・総務部）
- 3)身分証明書の発行 11 件
- 4)災害時緊急連絡先変更 34 件
- 5)緊急災害メール安否確認メール発動 2 件
- 6)安否確認テストメールの実施

ア. 10 月 31 日に安否確認訓練テストメールを配信、返信率 63%。

イ. 返信できなかった理由を調査し、改善点をまとめた。

ウ. メールを受信できなかった会員は 5 名。

- 7)会員の健康診断受診状況を把握し会員に健康診断の受診を促した。
健康診断受診率 92%。

- 8)単位修得の集計と分析

(2)第二種会員・賛助会員

新規入会申請はなく、賛助会員 7 団体・1 個人

5. 推進協会会計の管理

- (1)2022 年度ブロック会計マニュアル改訂し、ブロック会計説明会 2 回実施。
- (2)中間決算会計監査

6. 資料・記録の整備と保管

(1)委嘱状発行

総会後各種委員会・組織改革プロジェクト・卒後研修プロジェクト 2023 へ発行

(2)業務基準の作成

ハラスメントマニュアル作成

- (3)2022 年度ブロック長マニュアル作成
- (4)安全管理事例報告書(ヒヤリハット)11 件
- (5)「お母さまからの声」報告 9 件
- (6)「認定者の声」報告 9 件

7. 広報部の設立

(1)SNS の活用を開始

Line 公式アカウント作成し、会員へQRコード入りチラシを配布
2023 年 3 月 31 日現在の登録数 468 件

- (2)育児通信バックナンバー有効活用のため、希望者を募り無料配布

- (3)個人会員向けチラシ・パンフレットのフォーマット作成
- (4)ピジョン、ニコ・ワークスの協会関連セミナー告知を推進協会ホームページ・Instagram・LINE 公式アカウントで行った。

8. 理事関連

- (1)選挙管理委員の推薦

推薦 1 名

- (2)理事・監事交代の登記変更

2022 年 6 月 28 日に法務局に書類提出し、登記変更済み。

(2022 年度総会議事録・2022 年度第 2 回理事会議事録・理事就任承諾書・理事辞任届)